

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	マクロ経済学 (Macroeconomics) 2036011-063					担当教員	牧野 智一 (マキノ トモカズ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	4	配当年次	1年次	開講期	後期2
科目特性	知識定着・確認型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
<p>本授業は、マクロ経済学の基礎知識を学習することを目的とする。マクロ経済学は経済を国全体の観点から考え、国民生活に及ぼす影響について分析する学問である。景気や失業などの現実社会で起こる経済現象について経済学の観点から把握し分析するための理論の習得を目標とする。なお、マクロ経済学とミクロ経済学は、現在の経済学の基礎となる学問であり、他の経済学関係の科目を履修する上でも必要不可欠となる知識であることを十分に理解して講義に臨むこと。また、経済学検定試験も意識した内容で講義を進めるため、テキストで触れていない内容についても解説する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
講義形式の授業を行う。各回の授業内容は関連しているため、十分な復習をした上で授業に臨むこと。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「マクロ経済学演習」「ミクロ経済学」「ミクロ経済学演習」「金融論」「財政学」									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) GDP やその特徴について説明できる。 (ii) 財市場について理解し、分析できる。 (iii) 貨幣市場について理解し、分析できる。 (iv) IS-LM 分析について理解し、分析できる。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
N・グレゴリー・マンキュー（2019）『マンキュー入門経済学（第3版）』東洋経済新報社									
⑦ 参考図書・指定図書									
竹内信仁編（2013）『スタンダードマクロ経済学』中央経済社									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%	10%				30%		100%
(i) GDP やその特徴について説明できる。	15%	2%				6%		23%
(ii) 財市場について理解し、分析できる。	15%	3%				9%		27%
(iii) 貨幣市場について理解し、分析できる。	15%	3%				9%		27%
(iv) IS-LM 分析について理解し、分析できる。	15%	2%				6%		23%
フィードバックの方法	試験結果の得点分布等を公表する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
昨年度に引き続き、学生諸君が授業内容を理解しやすいように、わかりやすい表現と丁寧な解説を心掛けて授業を行う。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	マクロ経済学とは	教科書、筆記用具	マクロ経済学の分析対象とミクロ経済学との違いについての理解 60分
2	国内総生産（GDP）	教科書、筆記用具	国内総生産（GDP）の特徴の理解 60分
3	付加価値	教科書、筆記用具	付加価値についての理解 60分
4	国内総所得（GDI）	教科書、筆記用具	国内総所得についての理解 60分
5	国内総支出（GDE）	教科書、筆記用具	国内総支出についての理解 60分
6	GDP の三面等価	教科書、筆記用具	GDP の三面等価についての理解 60分
7	国民所得の諸概念	教科書、筆記用具	国民所得の諸概念についての整理 60分

8	国民所得の計算	教科書、筆記用具	国民所得の諸概念の関係についての計算による理解	60分
9	名目 GDP と実質 GDP	教科書、筆記用具	名目 GDP と実質 GDP の違いと役割についての理解	60分
10	GDP と経済厚生	教科書、筆記用具	GDP が経済厚生 of 指標として利用される理由についての理解	60分
11	財市場の総供給	教科書、筆記用具	財市場の総供給についての理解	60分
12	財市場の総需要	教科書、筆記用具	財市場の総需要についての理解	60分
13	ケインズ型消費関数	教科書、筆記用具	ケインズ型消費関数についての理解	60分
14	財市場の分析（国民所得の決定）	教科書、筆記用具	均衡国民所得についての理解	60分
15	均衡国民所得と完全雇用国民所得	教科書、筆記用具	均衡国民所得と完全雇用国民所得の関係についての理解	60分
16	財政政策と乗数効果①（政府支出乗数）	教科書、筆記用具	政府支出乗数についての理解	60分
17	財政政策と乗数効果②（租税乗数）	教科書、筆記用具	租税乗数についての理解	60分
18	金融市場と貨幣市場	教科書、筆記用具	金融市場と貨幣市場の関連についての理解	60分
19	貨幣の概念	教科書、筆記用具	貨幣の概念についての整理	60分
20	利子率と債券価格	教科書、筆記用具	利子率と債券価格の関係についての理解	60分
21	貨幣需要	教科書、筆記用具	貨幣需要についての理解	60分
22	貨幣供給	教科書、筆記用具	貨幣供給についての理解	60分
23	信用創造	教科書、筆記用具	信用創造メカニズムについての理解	60分
24	貨幣市場の分析（利子率の決定）	教科書、筆記用具	貨幣市場の分析方法についての理解	60分
25	金融政策とその手段	教科書、筆記用具	金融政策とその手段についての理解	60分
26	IS 曲線と財政政策	教科書、筆記用具	IS 曲線と財政政策の関連についての理解	60分

27	LM 曲線と金融政策	教科書、筆記用具	LM 曲線と金融政策の関連についての理解	60 分
28	IS-LM 分析①（財政政策の効果）	教科書、筆記用具	IS-LM 分析による財政政策の効果についての理解	60 分
29	IS-LM 分析②（金融政策の効果）	教科書、筆記用具	IS-LM 分析による金融政策の効果についての理解	60 分
30	まとめ	教科書、筆記用具	各回の講義内容の整理と理解	60 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。各回の授業に対するコメント（感想・質問等）を学生諸君よりもらい、翌週の授業で可能な限りコメントに対する回答を行い、学修効果の向上に活用する。また、課題の演習問題を適宜実施し、知識の定着と確認を行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性